

2020年3月26日

徳島大学先端酵素学研究所は、生命現象の中心的役割を担う酵素について、生体反応の触媒としての構造や機能を探るこれまでの酵素学を基盤に、オミクス、ゲノム編集などの最新技術を用いた包括的解析を推し進め、「先端酵素学」を創出する研究所です。この観点に基づき、ゲノムから個体に至る生命情報を統合的に理解する研究を推進し、国際的に先導的な研究成果を発信するとともに、健康長寿社会の実現に向けた疾患の病態解明と医療への応用を目指しています。2016年度に設立された本研究所は、文部科学省の共同利用・共同研究拠点のひとつです。この度、次の要領にて、2020年度の共同研究を追加募集いたします。

1. 公募事項

(B) 共同研究

本研究所では、生命情報を統合的に理解する先端的な基礎医学研究を推進するとともに、難治性疾患および慢性疾患の根本的理解と治療法の開発を目指しています。次の5研究分野に関して国内外からの共同研究を広く公募します。単年（50万円）または2年間（50万円/年度・計100万円）での研究計画の提案が可能です。多くの研究者を助成するため、前年度共同研究受領者の連続応募はできません。

詳細は各分野担当者にご相談ください。

B-2. 蛋白質発現分野（担当：篠原康雄 yshinoha@genome.tokushima-u.ac.jp）

B-8. 免疫アレルギー学分野（担当：峯岸克行 yminegishi@genome.tokushima-u.ac.jp）

B-9. 生体防御病態代謝研究分野（担当：木戸博 kido@tokushima-u.ac.jp）

B-11. 糖尿病診療分野（担当：松久宗英 matuhisa@tokushima-u.ac.jp）

B-12. 生体防御医学分野（担当：安友康二 yasutomo@tokushima-u.ac.jp）

2. 応募資格

国内外の大学の教員その他研究機関に所属する研究者（大学院生を含む）および所長が認める者。学術的に挑戦的な研究提案を期待します。本研究所は、性別、年齢、国籍、人種等の多様性を尊重します。

3. 申請方法

申請書別紙（様式 1-B 追）に記載ください。共同利用・共同研究の申請内容については、できるだけ各担当教員と事前に打合せてください。

4. スケジュール

公募期間：2020年3月26日～5月8日

採否決定：2020年6月30日迄

共同研究期間：採択日～2021年3月31日※

※2022年3月31日の場合有り

5. 成果報告

研究終了後、研究の内容・成果等及び論文・学会発表等の実績を、成果報告書 別紙（様式2）2枚以下にて2021年3月31日までに報告してください。

また、成果を学術論文等として報告した場合は、論文中に本研究所の共同利用または共同研究であることを明記し、別刷を1部送付願います。

英文記載の場合は、Joint Usage and Joint Research Programs, the Institute of Advanced Medical Sciences, Tokushima University による支援を明記ください。

6. 提出及び問合せ先

申請者は「申請書(様式 1-B 追)」一式をPDFファイルにて、下記宛先まで電子メールで提出するとともに、「所属長の承諾書(公印押印)」のオリジナルを郵送してください。なお、ここでの所属長は、学部長、研究科長、研究所長等を指します。郵送の際は封筒に「共同利用共同研究申請承諾書在中」と表記してください。

申請書等各様式は本研究所ホームページからダウンロードしてご使用ください。

<http://www.iams.tokushima-u.ac.jp/>

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

徳島大学先端酵素学研究所事務室（共同研究担当）

電話 088-633-9420

電子メール kyodo@tokushima-u.ac.jp